

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	農地防災室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地防災室長 川口靖敬 (大田恵司)	内線	4005 (4018)
------	-------	---------------------	--------------------------	----	----------------

事業種目	かんがい排水	事業採択年度	S60		現計画	再評価時点
事業名	かんがい排水事業(共同事業:防災ダム事業、水道用水供給事業)	着工年度	S60	総事業費	約33億円	約30億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	2.19億円	2.52億円
事業区間	本庄川地区			完成予定年度	H16	H14
所在地	三原郡南淡町阿万			進捗率 (内用補進捗率)	97%(100%)	85%(91%)

事業の目的		事業内容	
<p>本事業は、本地域で慢性的に不足するかんがい用水確保のため、防災ダム事業、水道用水供給事業との共同で多目的ダム建設を実施し、併せて下流受益地への用水施設を整備するものである。</p>		<p>重力式コンクリートダム 1箇所 (総貯水量 1,720千m³、堤長 47.65m、堤体積 105千m³) 用水路工(パイプライン)6.2km 残事業量[舗装復旧 2.5km] 負担割合(国50%、県25%、町10%、地元15%)</p>	

進捗状況	<p>S60年度に着工し多目的ダムは既に完了し、再評価時(H10年度)の進捗率は85%であった。維持管理の省力化を目的とした送水計画の変更、及び用水路埋設ルートでの支障物件の確認や地元調整に時間を要したため、事業費が増加し事業期間が2年間延伸した。現在は、ダムから受水池まで送水するかんがい専用施設(用水路)の整備を進めており、H15年度までの進捗率は97%である。全延長6.2kmの残区間である2.5kmの用水路工事を今年度完了させ、H16年度には舗装復旧工事を行い、早期効果発現を図る予定である。</p>
------	--

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>受益地は三毛作体系が確立された集約的農業地帯で、京阪神の食料供給基地として重要な役割を担っているが、河川流量は乏しく慢性的な水不足となっている。このため、多目的ダム及び用水路の整備を進めてきた。地元からの要望は強く、早期に事業を完成させる必要がある。</p>
(2)有効性・効率性	<p>費用便益比B/C = 1.38、所得償還率6.0%であり、事業としての効果が期待できる。また、地元の事業実施体制も整っている。</p>
(3)環境適合性	<p>道路管理者との協議により町道下に埋設する用水管の埋戻材に流用土を使用している。また、舗装復旧には再生アスファルト合材を使用するなど資源の再利用に努めている。</p>
(4)優先性	<p>本年度用水路工事を完了し、H16年度に舗装復旧を残すのみである。早期に慢性的農業用水不足を解消する必要がある。</p>

再々評価の結果	継続妥当	左の理由	上記の理由により継続が妥当である。
---------	------	------	-------------------